



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年6月19日

我孫子市小中一貫教育だより

第333号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「生きものはっけん ～谷津でざりがに釣り～」



6月6日に湖北台西小学校の2年生で Abi-ふるさとの授業が行われました。学校から1キロメートルほど離れたところにある谷津ミュージアムでのザリガニ釣りを通して、生き物の育つ場所に関心を持ち、自分の暮らす地域について考えました。

初めに、谷津を守る会の方々からウシガエルやオタマジャクシ、ザリガニを見せてもらいました。ザリガニがいるということを実感し、期待が高まりました。いよいよ、竿の先にさきいかを付け、糸を垂らしました。いつ糸が引かれるかとじっと待ちましたが、なかなかザリガニは釣れません。待っている間に、谷津を守る会や手賀沼課の職員の人から谷津の自然について教えてもらいました。ザリガニが住む場所には、ドジョウやメダカ、アメンボ、シオカラトンボなども住んでいることが分かりました。鳥の音が聞こえました。谷津を守る会の人に、オオヨシキリの鳴き声だと教えてもらいました。他にも、捕まえたダンゴムシが卵を産む様子を見ることもできました。

ザリガニは3匹しか釣れませんでした。捕まえたザリガニを観察したり、様々な話を聞いたりしながら、自然豊かな谷津の姿を知ることができました。この後は、3年生の春夏秋冬で変化する谷津の植物や生き物の観察や5年生の谷津田での米作りへと学習が続いていきます。

Abi-English「道案内をしよう（電車の乗り換え）」

6月11日に布佐中学校の3年生2クラスで Abi-English の授業が展開されました。小学校で実施した街中での道案内からステップアップし、公共交通機関(電車)での道案内の仕方を学ぶことを目的としています。布佐中では翌週に修学旅行が予定されており、そこで外国人と会話することを課題としていることから、京都の路線図等を使用して生徒の興味関心を高めながら学習を進めました。

導入に修学旅行に関する話題を生徒とやり取りし、自然に今日の授業課題へと繋げていきました。課題は、ステップ1布佐駅から我孫子駅まで乗り換えなし、ステップ2我孫子駅から東京駅まで乗り換え有、ステップ3京都駅から観光目的地までの案内パターンの3段階に分かれています。初めは大画面に映し出されたり、配付されたりしたプリントを見ながら全体で練習と確認を行いました。続いてペアを作って練習し、最後に1ペアずつ全体の前で発表をしました。途中、プリントから目を離したり、路線図を指したりしながらコミュニケーションを取るよう指示があり、練習を重ねる度に流暢に会話ができるようになりました。発表の際は周囲から温かい拍手をもらうこともできました。

教科書にある題材を修学旅行という3年生最大の関心事と繋げ、また、教科担任とALTの連携した指導もあって生徒たちの生き生きとした表情が印象に残った授業でした。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年6月26日

我孫子市小中一貫教育だより

第334号



我孫子市マスコットキャラクター
「手興沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「我孫子の先人 ～嘉納 治五郎～」

6月20日に湖北台西小学校の5年生で Abi-ふるさとの授業が行われました。この学習では、嘉納治五郎の「柔道の父」としての功績及びその生き方や精神について理解することが目標です。

初めに、先生が準備してくれたクイズや動画で、柔道が日本発祥のオリンピック競技であることや治五郎の別荘が我孫子市にあったことを知りました。次に、補助教材『ふるさと我孫子の先人たち』を読み、嘉納治五郎がどんな人だったのか、どんなことをしたのかについて学びました。柔道の精神やアジアで初めてのオリンピック開催を願った治五郎の思いに触れ、治五郎の生き方について考えました。



授業の振り返りでは、「嘉納治五郎は強さと優しさを備えたすごい人。こんなすごい人が我孫子にいたなんて嬉しい。」「自分も柔道の精神である精力善用を意識すれば、友達と上手に関わっていけるのかな。」など我孫子市を誇りに感じたり、自己と向き合ったりする感想が見られました。



小学校5年から中学校2年までは、毎年3人ずつ我孫子の先人について学び、中学校3年では、興味を持った先人について調べ学習を行います。そのスタートにふさわしく今後も楽しみになる授業でした。

Abi-ふるさと「我孫子の先人」～松岡 鼎～



6月21日に布佐中学校の1年生2クラスで Abi-ふるさとの授業が行われました。布佐中学校では、「ふさカリキュラム」という地域の特色を生かした中学校区オリジナルカリキュラムがあります。そのなかで松岡鼎について学んでいたこともあり、これまでの学習と関連付けながら学びを深めました。

今日の目標は、松岡鼎の生き方から「地域貢献」という視点を持ち、我孫子市や身近な地域のためにできることを考えることです。

初めに、身の回りで地域のために活動している人について考えました。その後、「医師として」「政治家として」「市民として」の3つの視点から鼎の生き方について学び、自分にできることを考えました。個人で考えたことをもとにグループで話し合い、考えを広げたり深めたりしました。

自分たちにできる地域貢献として、挨拶運動やゴミ拾いの他、地域のイベント、特にお祭りに積極的に参加したいという意見が多くの生徒から出ました。日頃から地域の方と交流しているからこそその意見だと思いました。地域のなかで、自分らしく豊かに生きる力が育まれていると感じる授業でした。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年6月28日

我孫子市小中一貫教育だより

第335号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ たしお」

Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「はたらく人とわたしたちの暮らし」

6月24日、我孫子第四小学校の3年生社会科「はたらく人とわたしたちの暮らし」の単元で Abi-キャリアの授業が行われました。農家の人についての学習のまとめとして、農家の方（そうま農園さん）に來校していただき、お話を伺いました。インタビューを通して「我孫子の農業」や「働くこと」についての考えを深めることがねらいです。



児童たちは、授業が始まる前から農家の方が持ってきてくださった野菜に興味津々。「人参に長い葉っぱがついているのを初めて見た！」という児童もいました。

農家の方に直接聞きたいことがたくさんあり、準備した約50の質問の中からどんどん質問をしました。「田んぼはどんなところがいいの？」「どんな野菜をつくっているの？」「売れ残った野菜はどうするのか？」「野菜が売れたお金で何をかうのか？」など、すべての質問に丁寧に答えてくださる農家の方の話を真剣に聞く児童たちの姿はとても立派でした。

また、「働いていて嬉しいことは？」や、「大変なことは？」に対する質問には、働き甲斐や苦労をたくさん語っていただき、働くことの意味についても考えられました。次回の授業では、単元を通して学んだことを振り返る予定です。身近な人々によって自分たちの暮らしが支えられていることを実感しながら学習に取り組んでいる素敵な授業でした。

Abi-ふるさと「農家の仕事」

6月26日、新木小学校の3年生社会科「農家の仕事」で Abi-ふるさとの授業が展開されました。近隣の農家の方から、農業を営むうえでの努力や工夫について学ぶことが目的です。

前日に、畑を訪れたときのことを思い出しながら授業が始まりました。ワークシートには、インタビューの内容がびっしりと書き込まれており、農家の方と直接話をしたことで子ども達のなかに色々な発見や驚きがあったことを感じました。

続いて、「どのような工夫や努力をして野菜を作っているのだろうか？」という学習課題を全体で共有し、ワークシートに記載してある内容を「工夫」と「努力」に分けました。個々で考えた後、ペアで伝え合い、全体で発表しました。子ども達は、自分が聞いたり調べたりしたことを発言したくて仕方がないといった様子でした。担任は、追加発問をしながら子どもたちの発言を繋ぎ、農家の方の「おいしい野菜を作りたい」という本質的な願いに対する理解を深めていきました。資料として用意していた写真も学習の効果を高めていました。

最後に、自分の言葉で今日のまとめを記入して、発表しました。答えた子が次の子を指名するという形で 10人ほどの子が発言しました。どの子も自信をもって堂々と発言していた様子から、ねらいにしっかりと迫れた授業であったことを実感しました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年7月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第336号



我孫子市マスコットキャラクター
「手繪沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「まいにちとおる みちにはね」

6月27日、我孫子第三小学校の1年生生活科「まいにちとおる みちにはね」で Abi-ふるさとの授業が展開されました。通学路について調べたことを学級内で共有し、地域への愛着や安全への意識を高めていくことが学習のねらいです。

最初に、モニターに前時の話し合いの様子を映し、振り返りを行いました。写真を見ることで、鮮明に思い出し振り返ることができました。

次に、通学路にあったものを共有していきます。植物や建物、標識など様々なものに気づきました。「畑には入らない」「グリーンベルトは歩く人の道」など、規範意識や安全への意識についても先生とのやりとりの中で学ぶことができました。さらに、「通学路にあるみんなの安全を守ってくれるもの」についても考えを深めました。標識だけでなく、道路にも「止まれ」の表示があることや、横断歩道、警察署、安全管理員さんなど、通学路には安全を守る人や工夫が色々あることを理解しました。

最後に「通学路の良さ」について考えを深めました。「植物があることで、きれい、心が温かくなる」「ポストや電車などがあるから便利」「安全を見守ってくれる人への感謝や命を大切にすること」など、様々な考えが生まれました。通学路について調べることで、地域の魅力や安全への意識をより高めることができました。



Abi-ふるさと「布佐の自まん見つけ」～布佐のまちってどんなところ？～

6月27日、布佐南小学校の3年生社会科「布佐の自まん見つけ」の授業が展開されました。この学習は、歴史を学ぶことで自分たちが住むまちを知ることがねらいとしています。

初めに、布佐と利根川でつながる銚子について学びました。銚子は、昔から鮭やイワシなど一年中たくさんの魚が獲れる貴重な場所であることを知りました。江戸時代、銚子沖で獲れた魚は、利根川を利用し帆掛け船で布佐まで運ばれ、布佐からは馬車で5日間を駆け江戸まで運ばれていました。現代と全く違う江戸時代の話に、児童はとても驚いていました。先生からの「なぜ、5日間をかけて江戸まで運んでいたと思いますか？」という質問には「魚が悪くなる前に届けられる距離だから」や「江戸にはたくさんの方が住んでいて、たくさんの魚が食べられていたから」、「江戸の近くでは魚が獲れなかったから」など様々な意見が生まれました。

また、利根川の上流にある群馬県で切った材木が、利根川を利用して布佐の隣にある木下（きおろし）まで船で運ばれていたことも知りました。木下という地名の由来に納得するとともに、布佐周辺が江戸時代の物流にとって、江戸までの水路と陸路を結ぶ重要な場所であったことを理解し、とても誇らしげな様子でした。

歴史を通して布佐のまちが栄えた理由を知ることが、自分たちが住むまち布佐への興味と関心が高まった授業でした。





T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年7月10日

我孫子市小中一貫教育だより

第337号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「ようこそ 布佐南小学校へ！」

7月2日に布佐南小学校の1年生生活科でAbi-ふるさとの授業が行われました。この学習では、交流活動を通して、自分自身の成長を振り返り、自信や達成感を高めることをねらいとしています。

交流を心待ちにしていた1年生。園児が教室に入ってくると、手を振ったり、声を掛けたりする様子が見られました。挨拶を終えると、歌やダンスを発表しました。次に、みんなでゲームをしました。いす取りゲームでは、小学生が率先して椅子の準備をしました。1つの椅子に複数の人が座ったときは、自然と園児に椅子を譲る姿が見られました。



ゲームの後は、児童と園児でペアを作り学校探検に行きました。業間休みと時間が重なったこともあり、他の学年の児童も、園児や保育園の先生に声を掛け、学校の中にたくさんの笑顔が溢れました。教室に戻り、折り紙で作ったプレゼントを渡しました。

感想発表では、「会えて嬉しかった。」「一緒にゲームや学校探検ができて楽しかった。」「また遊びたい。」などの声が上がりました。いつまでも手を振り離れがたい様子の子供達に、準備や交流活動を通して地域との結びつきが深まったことを感じました。

Abi-ふるさと「台風と防災」

7月5日、我孫子第三小学校の5年生理科で「台風と防災」の授業が展開されました。台風について学んだことを自身の学習や生活に生かそうとする態度を養うことを目的としています。

「自分たちでできる防災対策を考えよう」という本時の課題が提示され、水害が発生すると自分たちの生活にどんな影響があるかを考えました。初めに、布佐地区で起こった水害、数年前の利根川の氾濫、明治期の水害被害の様子を写真や映像で提示し、我孫子市の人々が昔から水害と向き合いながら生きてきたことや水害が身近な問題であることを捉えさせました。次に、グループごとにハザードマップを配付し、自分の家の位置に印を付けました。家の状態が具体化することで「家は大丈夫」「5mの水の底」など、水害をより身近に感じることにつながりました。その後、改めて防災対策について考えました。



児童から、「集合・避難場所を確認する」「防災グッズを準備する」「ニュースをしっかりと見る」「物が飛ばないように片付ける」など、学んだことを自分の生活にどのように生かすかを考えた発言が上がりました。振り返りシートにも、今日から行動しようとする記述が見られ、授業が大変に意義のあるものであったことが確認できました。



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年9月27日

我孫子市小中一貫教育だより
第338号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-English「不良品を交換しよう」

湖北台中学校の3年生が、自分の購入した商品が不良品だったときに返品や交換をするには、どのように表現をすればよいか考えました。授業のめあては、場の状況やお互いの感情を考えながらコミュニケーションをとることです。

初めに新出単語の確認と今日のGoal、評価の観点を確認しました。続いて例文を音読し、基本文の確認をしました。小学校で学習した「～したい」「～できる」という表現と、より丁寧に言う場合の表現を振り返りました。

次に、ペアで例文のアレンジに挑戦しました。伝えたい内容がレベル別に6種類提示されており、辞書や端末を活用しながら文章を作成しました。どのペアも熱心に学び合いながら進めている様子が印象的でした。先生からは、端末の翻訳機能を使うのではなく、知っている単語を用いて、同じ意味になるように言い換えるとどうなるか考えるよう指示がありました。文章だけでなく、実際にコミュニケーションする際の留意点を書き込んでいるペアもありました。

最後の発表では、感情を含めて表情豊かにコミュニケーションをとったり、例文で示されたその先を想像し、店員と客とのやり取りを行ったりするペアもありました。小学校からの学びのつながりがしっかりと見える授業でした。



Abi-ふるさと「手賀沼干拓と井上二郎」

布佐小学校の5年生が、地域の方をゲストティーチャーに招いて我孫子の先人「井上二郎」について学びました。

布佐は昔、水害が多く、また土も痩せていたため米作りには適していない土地でしたが、4代当主が布佐の人々の協力を得て開墾に着手し、水田や畑地、住居を広げていったことを知りました。そして、12代当主井上二郎が新田開発に取り組み、大学院で学んだ土木技術の知識を生かし、排水の機械化や土壌の改良を行い、120町歩もの大規模な開墾が成し遂げられたことを教えてもらいました。



井上二郎の生き方を知り、同じ目線で同じ目的に向かう中で、苦勞しても情熱を持ってあきらめないことの大切さや、時代に合わせて変わっていく地域の姿について考えました。

授業後、なぜ布佐という土地を選んだのか、開墾に協力した人々はどういった思いで手伝っていたのだろうなど、新たな興味や関心が生まれ、自分たちが暮らす「布佐」という地域のよさや課題に改めて目を向け、考えを深める授業となりました。



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年9月27日

我孫子市小中一貫教育だより

第339号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「風水害・津波災害に立ち向かう」

我孫子第二小学校4年生の社会科で「風水害から暮らしを守る」の単元から自助・共助・公助に焦点を当て、災害に対する意識を高めることを目的とした授業が展開されました。

自分自身の身を守る方法、周囲の人たちが協力して助け合う方法、公的機関による救助・援助について、事前に自分で調べたことをグループに分かれて発表しました。グラフ等の資料を用いて発表することで、内容が分かりやすくなり、子ども達の中で学びが広がっていく様子が見られました。学級全体で共有したい情報は、先生がテレビ画面に映し紹介しました。子ども達は、話を聞きながら真剣に頷き、自分の意見と友達の意見を比較し、考えを広げていきました。その後、子ども達の発表に具体的な事例を交えながら、自助・共助・公助のそれぞれについて、考えをまとめていきました。



授業の最後には、「今、すぐに始められること」として「車のガソリンを満タンにしておく」「玄関付近に避難バッグを置いておく」といった、これまでとは異なる新たな視点での意見が発表されました。これから我孫子中学校区の3校で熟議され、完成形となっていくであろうオリジナルカリキュラムの1時間として、意義のある提案授業であったと思います。

Abi-ふるさと「手賀沼干拓と井上二郎」

布佐南小学校5年生の総合的な学習の時間に、Abi-ふるさとの授業が行われました。事前に学習した我孫子の先人、「井上二郎」について学びを深めるため、学校の側にある旧井上邸へ見学に行きました。井上二郎が何をした人なのか、家紋はどんな紋か、土地の高さはどうなっているかなど、見学を開始する前に、事前に見学のポイントを確認しました。「何を見てくるのか」を明確にすることで、見学の視点が定まります。



子どもたちは先生から説明を聞く時間と、グループで自由に見学する時間を繰り返しながら、意欲的に学習していました。水害から米を守るため、蔵は母屋よりも高い位置にありました。人命よりも米を大切にしていた当時の暮らしを聞き、子どもたちはとても驚いていました。また、母屋にはたくさんの部屋があり、使用人を含め40人以上が住んでいたこと、囲炉裏がある中心の部屋からは、全ての部屋をみわたすことができることなど、井上二郎の暮らし方を想像しながら見学していました。

グループで1人は写真係となり、タブレット端末で学習のまとめに使いそうな写真を撮影していました。四季の移ろいに合わせて花が咲く庭や、ドラマのロケに訪れた俳優のサインなど、友達と協力して時間いっぱい見学しました。我孫子市の偉人が学校の近くに住んでいたことを学び、地域の良さを味わうことができました。



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年10月22日

我孫子市小中一貫教育だより
第340号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-道徳「みんな だれかに」

我孫子第二小学校の1年生で、Abi-道徳の授業が展開されました。今日の学習のテーマは、「感謝の気持ち」です。教材や自分の体験を振り返り、みんなが誰かの役に立っていることに気づき、周りの人のためにできることを考えます。

まずは、「どんな時にありがとうと言ったり、言われたりしたか」について考えました。考えたことを発表すると、友達から「いいねー」など相手を認める言葉が返ってきました。次に、教材の場面を取り上げ、それぞれの気持ちを考えます。花とハチ、鳥とワニなどの役になりきって実際に演じることで、教材を読んでいただけでは分からなかった両者の関係性や気持ちに気づくことができました。さらに、人間と動物、森や海の中、大きな動物と昆虫など様々なシチュエーションへと視野を広げると、人間・植物・生き物は、色々なところで助け合い、感謝し合っていることが分かりました。最後に授業を振り返り、自分にできることを考え、友達に伝えました。



個別の時間と友達との対話の時間を組み合わせて考えを深め、お互いに認め合う姿がたくさん見られた授業でした。

Abi-ふるさと「布佐地域マップをつくろう」

布佐小学校4年生の総合的な学習で、Abi-ふるさとの授業が行われました。今日のテーマは、自分達で作成したハザードマップを発表し合い、自分たちの地域について理解を深めることです。

ハザードマップは、タブレット端末で通学路の写真を撮影し、そこにそれぞれが気付いたことを記入して作成しました。「どこが」「どのように」危険なのかを友達に分かりやすく伝えようと、班ごとに工夫する様子が見られました。また、地域全体の危険性について知るために、我孫子市が作成している地震ハザードマップなども活用していました。



児童の発表では、建物全壊率マップや交通事故に関する内容が多くみられましたが、単元を通じた授業の中では、洪水ハザードマップや液状化危険度マップなども活用し、14年前の東日本大震災直後の様子を知らない児童が布佐地区への理解を深めていく内容になっていました。

子ども達は、各班の発表を聞き比較することで、同じ地域でも通学路のコースによって危険の内容や確率が異なることを理解しました。



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年10月22日

我孫子市小中一貫教育だより
第341号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア 「つながる 広がる 支え合う ～高齢者疑似体験をしよう～」

並木小学校のある久寺家中学校区では、研究指定を受け福祉教育に取り組んでいます。その一環として5年生が「高齢者についての理解と共生」をねらいとした出前授業を実施しました。当日は、我孫子北地区社協の皆さんの支援を受け、身体機能の低下、視覚機能の低下、感覚機能の低下による困難さを体験しました。



身体機能の低下による困難さの体験では、重りやヘッドホン、真っすぐに立てないようにするベルトなどの装具を付け、歩行をしました。子ども達からは、「腰が痛い」「重くて歩きにくい」「何も聞こえなくて怖い」「杖があると助かる」「他の人に支えてもらうと助かる」等の声が聞かれました。

色によって見え方が異なることや手先を自由に使えないもどかしさなども体験し、高齢者の方との接し方について考えを深めるきっかけとなりました。社会福祉協議会の方からは「まずは身近で困っている人たちに優しく手を差し伸べてあげてほしい」と話がありました。

この貴重な体験と学びを中学校での福祉教育カリキュラムにしっかりと繋ぎ、中学校区としての「育てたい子ども像」を実現させるべく取り組んでいくことを期待しています。

Abi-ふるさと「岡田武松」

我孫子第三小学校6年生の理科の学習で、Abi-ふるさと「我孫子の先人」の授業が行われました。岡田武松博士の業績について学び、防災・減災の観点で自分ができることを考えることが目標です。

「天気予報がない時代はどのように天気を予想していたのだろう」という先生の問いかけから授業が始まりました。台風の命名者である岡田武松博士は、日露戦争のさなか日本海海戦があった日の天気予報を的中させ、これを機に日本が勝利して戦争が終結に向かったことや人材育成の名人であったことを知りました。また、当時の気象情報は軍事機密事項でしたが、気象事業の本質を守ろうと気象事業の独立を守り抜いた武松の思いも想像しました。



その後、天気予報をどのように活かすべきかについて考えました。「事前の準備や備え」「危険個所の修理」「責任をもって自分の命は自分で守る」「情報を知らない人に呼びかける」など、自助・共助に係る意見が多く出され、防災に関する既習事項がしっかりと生きていくことを感じました。

今後もカリキュラムに本時のような授業を組み入れ、我孫子中学校区のオリジナルテーマである防災教育を通して小中学校が繋がっていくことが想像できる授業でした。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年10月30日

我孫子市小中一貫教育だより
第342号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「店で働く人」

湖北小学校の3年生で社会科「店で働く人」の授業が展開されました。今日のねらいは「スーパーマーケット」と専門的に商品を取り扱う「お店」で行われている工夫や特徴を理解することです。

初めに先生から、「湖北駅はなぜスーパーマーケットとお店が近いところにあるのだろう」という疑問が投げかけられ、スーパーマーケットとお店、それぞれのよさについて考えました。自分で考えた後、グループになってみんなで考えをまとめました。他の人の考えを聞いたり自分の意見を伝えたりすることで考えが深まっていく様子が見られました。

発表では、スーパーマーケットには、「商品の種類が豊富」「夜の割引」「ポイントカード特典」などがあり、お店には、「新鮮なものが多い」「安い値段で袋いっぱいに入っている」などの意見が挙げられました。先生からは、スーパーマーケットとお店の店員から聞いたそれぞれの工夫についても教えてもらいました。

それぞれの特徴について知り、スーパーマーケットもお店も地域のお客さんのことを考えていろいろな工夫がされているということが分かりました。今後、子ども達が今日の授業を活かしてどのように買い物をし、地域と関わっていくのか楽しみになりました。



Abi-ふるさと・キャリア「伝えよう 一小的たからもの」

我孫子第一小学校3年生の総合的な学習の時間に「伝えよう 一小的たからもの」の単元でAbi-ふるさと・キャリアの授業が行われました。これまでテーマを選んで自分達で調べた「一小的たからもの」についてさらに詳しく理解するため、別のテーマを選んだ人と班を作って相談会を行いました。はじめに「どのような相談をするのか？」という担任からの質問に、「誰にインタビューをすればいいか」「どんな質問をすればいいか」や「ほかに調べることはないかアドバイスを聞く」などの意見が出され、学級全体で相談会の目的を共有しました。

相談会では、これまでに調べたことを分かりやすく伝え、たくさんの意見をもらいました。他の人からの相談には、どうやって調べていくのがいいか意欲的に考え一生懸命伝えました。相談し合い、共に考えることで他の人のテーマについても関心を持つことができました。



最後の振り返りでは、「これから何をすればいいか悩んでいたけれど話を聞いてもらって気持ちが楽になった」「一生懸命考えてくれて嬉しかった」「友達の役に立ててよかった」など相談会を通して、多くのことを感じたことが伝わりました。テーマに沿ってさらに詳しく知るだけでなく、協働的な学びとしても意義のある授業となりました。